

# 2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1) 決算概要            | 7) トピックス              |
| 2) 決算のポイント         | 8) 財政状態               |
| 3) 営業利益増減の要因分析     | 9) キャッシュ・フロー          |
| 4) 国内売上高           | 10) 設備投資と研究開発費        |
| 5) 海外売上高           | 11) 通期業績見通し           |
| 6) 商品群別売上高 [参考] 内訳 | [参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響 |

日本光電工業株式会社

銘柄コード：6849

2025年8月6日

*Fighting Disease with Electronics*



# 1) 決算概要

	2025/3 第1四半期	2026/3 第1四半期	増減率 (%)
売上高	46,227	50,020	8.2
国内売上高	29,493	30,686	4.0
海外売上高	16,734	19,334	15.5
売上総利益 (売上総利益率)	21,857 47.3%	26,316 52.6%	20.4
営業利益 (営業利益率)	- 1,248 -	1,400 2.8%	-
経常利益	1,674	473	- 71.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	766	137	- 82.1

(単位：百万円、単位未満切捨て)

為替影響除く：+22%  
(為替・アドテック社連結の影響除く：+14%)

自社品 2025/3 1Q 2026/3 1Q  
売上高比率： 68.9% → 72.6%

販管費率： 50.0% → 49.8%

為替差損益：差益2,741百万円 → 差損1,015百万円

平均レート	(2024/6)	(2025/6)
1米ドル	154.7円	146.3円
1ユーロ	166.7円	162.7円

## 2) 決算のポイント

### 売上高 : 前年同期比 8.2%増

- 国内 : 消耗品・サービス事業の強化に注力し、売上が伸長。PAD市場でのAEDの販売も好調に推移。自社品販売の注力により、現地仕入品は減収。
- 海外 : 全ての地域で売上が伸長。為替およびアドテック社連結の影響を除いても、北米、アジア州他を中心に二桁成長。

### 営業利益 : 1,400百万円 (前年同期は1,248百万円の営業損失)

- 増収効果およびアドテック社連結の影響に加え、在庫評価減の減少や自社品の売価アップ等により粗利率が改善し、利益を確保。

### 経常利益 : 前年同期比 71.7%減

- 為替差損益が差損に転じる。

### 3) 営業利益増減の要因分析

(単位：百万円)

- 【粗利率改善の主な要因】
- 在庫評価減の減少 + 1.5pt
  - 自社品の売価アップ + 0.7pt
  - 国内ITシステム・サービスの粗利率良化 + 0.6pt

増収・アドテック社  
連結による  
粗利の増加  
+ 2,294

うち アドテック社  
連結影響は  
3割程度

粗利率の改善  
+ 3,010

販管費の増加※  
△ 2,272

うち アドテック社  
連結影響は  
3割程度

当期  
1,400  
全社収益改革  
の効果  
0.7%pt  
程度

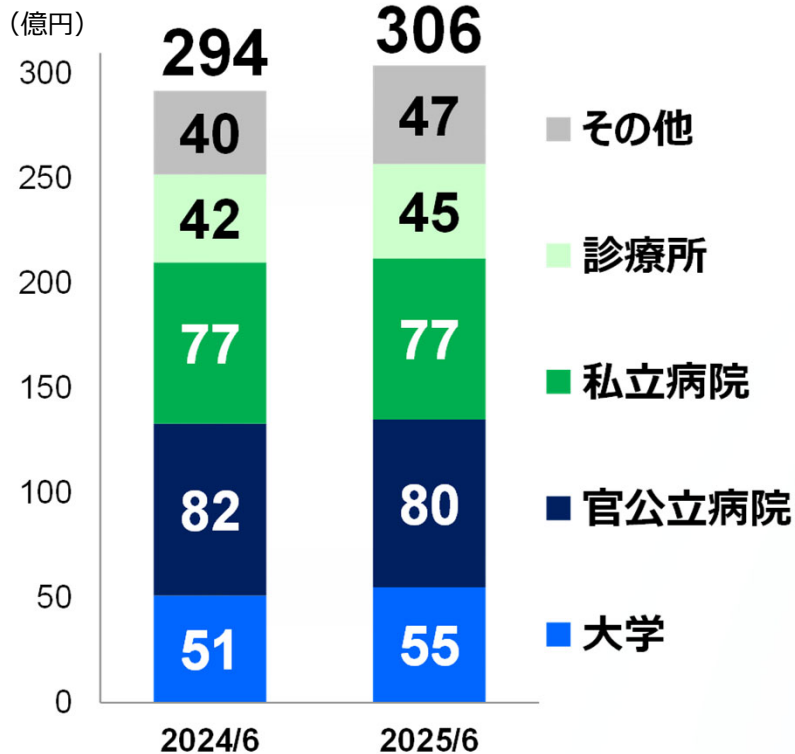
為替の影響  
△ 384

- 【販管費増減の費目※】
- 給料手当 + 17.7億円
  - 減価償却費 + 1.3億円

※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、  
「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

# 4) 国内売上高

【市場別売上高】



【商品群別売上高】

(単位：百万円)

	2025/3 第1四半期	2026/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	7,760	8,492	9.4
生体情報モニタ	9,038	8,482	- 6.2
治療機器	6,641	7,430	11.9
その他	6,051	6,280	3.8
売上高合計	29,493	30,686	4.0

【市場別】 PAD市場でのAEDの販売に加え、大学、診療所市場が好調に推移。私立病院市場は前年同期並み、官公立病院市場は前年同期を下回る。

【商品群別】 **生体計測機器**： 売上が回復した診断情報システムに加え、心臓カテーテル検査装置群が二桁成長。心電計群も好調、脳神経系群は堅調に推移。

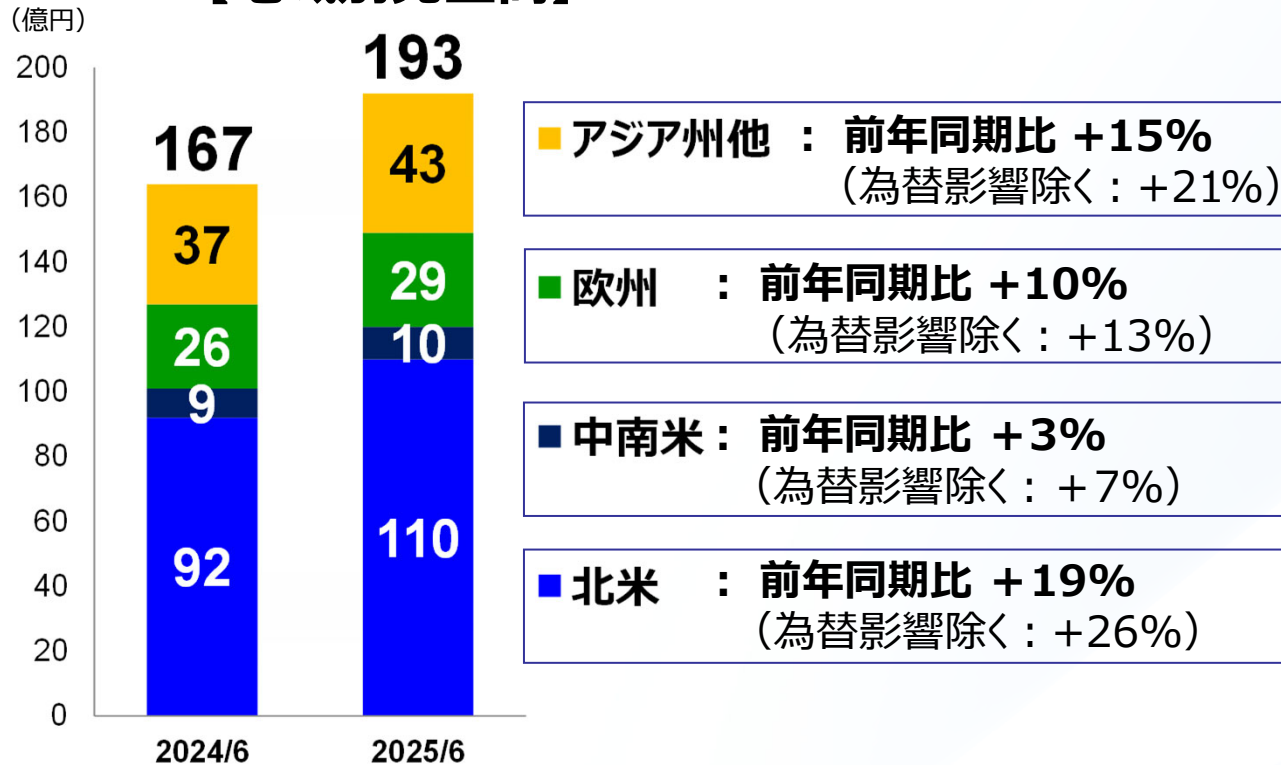
**生体情報モニタ**： 新製品効果もあり前年同期に好調だった医用テレメータに加え、ベッドサイドモニタが減収。センサ類など消耗品は堅調に推移。

**治療機器**： AEDが更新需要の継続、新製品効果もあり二桁成長。除細動器も好調に推移。

**その他**： 検体検査装置・試薬が二桁成長。医療機器の設置工事・保守サービスも好調に推移。現地仕入品は減収。

# 5) 海外売上高

【地域別売上高】



【海外売上高比率】

2025/3 第1四半期	2026/3 第1四半期
36.2%	38.7%

【商品群別売上高】

(単位：百万円)

	2025/3 第1四半期	2026/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	2,409	4,108	70.5
生体情報モニタ	8,275	7,883	- 4.7
治療機器	4,193	5,628	34.2
その他	1,855	1,713	- 7.6
<b>売上高合計</b>	<b>16,734</b>	<b>19,334</b>	<b>15.5</b>

為替影響除く：+22% (為替・アドテック社連結の影響除く：+14%)

- 【地域別】
- 北米：アドテック社を含む脳神経系群に加え、人工呼吸器、AEDが大幅増収。生体情報モニタは好調だった前年同期を下回る。
  - 中南米：ブラジルを中心に前年同期を上回る。
  - 欧州：トルコ、イタリア、フランス、イギリスを中心に好調に推移。
  - アジア州他：タイ、ベトナムが好調に推移、中国も前年同期を上回る。
- 【商品群別】
- 生体計測機器：脳神経系群がアドテック社連結の影響もあり大幅増収。心電計群もアジア州他、中南米で二桁成長。
  - 生体情報モニタ：北米、欧州で好調だった前年同期を下回る。アジア州他では、東南アジアでの売上回復により、二桁成長。
  - 治療機器：人工呼吸器が全ての地域で大幅増収。特に北米でマスク型人工呼吸器が売上をけん引。除細動器、AEDも二桁成長。
  - その他：検体検査装置・試薬がアジア州他を中心に前年同期を下回る。

## 6) 商品群別売上高

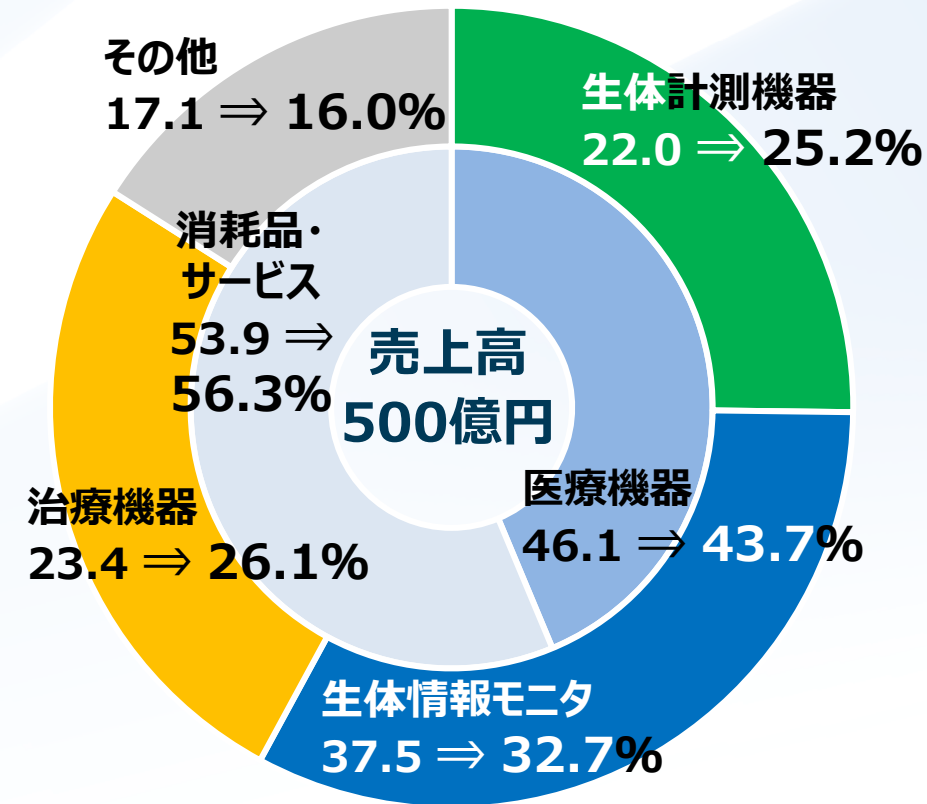
(単位：百万円)

	2025/3 第1四半期	2026/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	10,170	12,600	23.9
生体情報モニタ	17,314	16,366	- 5.5
治療機器	10,835	13,058	20.5
その他	7,906	7,994	1.1
売上高合計	46,227	50,020	8.2

(参考)

医療機器	21,331	21,856	2.5
消耗品・サービス	24,895	28,163	13.1

商品群別売上構成比  
(2024/6 ⇒ 2025/6)



# [参考] 商品群別売上高の内訳

(単位：億円、単位未満切捨て)

生 体 計 測 機 器	2025/3 第1四半期	2026/3 第1四半期
脳 神 経 系 群	21	37
心 電 計 群	13	14
心臓カテテル検査装置群	43	47
診 断 情 報 シ ス テ ム 群	10	12
そ の 他 ※	14	14

※その他には、他社製の生体計測機器を含みます。

治 療 機 器	2025/3 第1四半期	2026/3 第1四半期
医 科 向 け 除 細 動 器	15	18
A E D	52	62
ペ ー ス メ ー カ ・ I C D	6	7
人 工 呼 吸 器	14	23
そ の 他	19	19

生 体 情 報 モ ニ タ	2025/3 第1四半期	2026/3 第1四半期
生 体 情 報 モ ニ タ 合 計	173	163
うち 臨床情報システム群	9	7

そ の 他	2025/3 第1四半期	2026/3 第1四半期
検 体 検 査 装 置	29	30
画 像 診 断 装 置 他 ※	50	49

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

# 7) トピックス

## 2026年3月期 主な新製品・サービス

### ソリューション事業 (ITS+DHS)

#### 臨床カルアシスタントサービス PRM-2100

 PrimeBridge  
2024年度4Q : 日本

- 電子カルテからの患者情報と連携、医療機器の検査データを一元管理し、院内外で参照可能
- 中小病院向けに、クラウドサーバを活用した月額利用料制で、初期導入費用を抑制、アップグレードに対応

#### 脳神経遠隔診断支援 Live View Panel Pro

2025年度1Q : 米国



- 脳波計、睡眠ポリグラフ、IONM※で計測した生体情報等をリアルタイムで一括管理
- 専門医による遠隔診断を支援

※ IONM (Intraoperative neurophysiological monitoring) : 術中神経モニタリング。

### 治療機器事業

#### オートショックAED AED-3200

2025年度1Q : 日本



- 救助者がショックボタンを押す必要がなく、救助への心理的な負担を軽減、電気ショックまでの時間短縮を目指す
- 音声ガイドに加え、ランプの点滅・点灯で操作や電気ショックのタイミングをお知らせ

### アドテック社を100%子会社化

- 2024年11月  
親会社株式71.4%を取得し、連結子会社化
- 2025年7月  
残り株式28.6%を取得し、100%子会社化
- 1Q、上期は売上、利益ともに計画どおりに進捗

## 8) 財政状態

(単位：百万円)

	前期末 2025/3	当第1四半期末 2025/6	増減額		前期末 2025/3	当第1四半期末 2025/6	増減額
流動資産	183,085	<b>173,198</b>	- 9,886	流動負債	72,296	<b>65,104</b>	- 7,192
棚卸資産	56,174	<b>58,194</b>	2,019	有利子負債	26,030	<b>26,034</b>	3
有形固定資産	29,270	<b>29,023</b>	- 247	固定負債	4,685	<b>4,433</b>	- 251
無形固定資産	27,653	<b>26,048</b>	- 1,605	純資産	181,294	<b>177,528</b>	- 3,766
投資その他資産	18,266	<b>18,795</b>	529				
<b>資産合計</b>	<b>258,276</b>	<b>247,066</b>	- 11,210	<b>負債・純資産合計</b>	<b>258,276</b>	<b>247,066</b>	- 11,210
棚卸資産回転月数 (ヵ月)	6.2	<b>6.6</b>		自己資本比率	69.5%	<b>71.2%</b>	

### 【流動資産の減少の理由】

受取手形及び売掛金

△136億円

### 【流動負債の減少の理由】

未払法人税等

△29億円

賞与引当金

△33億円

# 9) キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	前第1四半期 2024/6	当第1四半期 2025/6	増減額
I 営業C F	- 544	5,911	6,456
II 投資C F	- 1,115	- 1,160	- 45
F C F	- 1,660	4,750	6,411
III 財務C F	- 2,581	- 2,582	- 0
換算差額	1,157	- 1,017	- 2,174
増減額	- 3,083	1,151	4,235
期末残高	46,794	44,213	- 2,580

	2024/6	2025/6	増減
税金等調整前四半期純利益	1,669	472	△1,196
為替差損益（益：△）	△2,080	915	+2,996
売上債権の増減額（増加：△）	12,623	13,768	+1,145
仕入債務の増減額（減少：△）	△3,583	△1,022	+2,560
法人税等の支払額	△5,360	△3,545	+1,814

# 10) 設備投資と研究開発費

(単位：百万円)

	2025/3 第1四半期	2026/3 第1四半期	増減額	2025/3 実績	2026/3 計画
設 備 投 資	2,222	859	- 1,362	9,519	9,400
減 価 償 却 費	933	1,060	127	4,067	4,900
研 究 開 発 費	1,602	1,585	- 17	6,826	7,200

## ●2026/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

PLM/MES※システムの導入 設備投資額：約30億円

< 23/3：3億円、24/3：5億円、25/3：9億円  
26/3：8億円、27/3～：5億円

PLM/MES：26/3稼働予定

鶴ヶ島新工場の建設

総投資額：約110億円

< 23/3：23億円（土地取得）  
～25/3：41億円、26/3：32億円（建屋・設備等）  
27/3～：14億円（設備等）

着工：2024年7月  
完成：2025年末予定  
稼働開始：2026年予定

※PLM（Product Life-cycle Management）：製品ライフサイクル管理、MES（Manufacturing Execution System）：製造実行システム。

# 11) 通期業績見通し

	2025/3 実績	2026/3 予想	増減率 (%)
売上高	225,424	240,000	6.5
国内売上高	145,237	149,800	3.1
海外売上高	80,187	90,200	12.5
売上総利益 (売上総利益率)	117,157 52.0%	126,000 52.5%	7.5
営業利益 (営業利益率)	20,713 9.2%	24,000 10.0%	15.9
経常利益	20,373	24,000	17.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,098	15,000	6.4
海外売上高比率	35.6%	37.6%	

為替影響除く：+20%  
為替・アドテック社連結の影響除く：+14%  
関税影響除く：53.5%

【地域別海外売上高】

	2025/3 実績	2026/3 予想	増減率 (%)
北米	41,900	47,500	13.4
中南米	5,388	5,900	9.5
欧州	12,554	13,400	6.7
アジア州他	20,344	23,400	15.0
海外計	80,187	90,200	12.5

※第2四半期以降の前提為替レートは、140円／米ドル、156円／ユーロから変更していません。

# [参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

	2025/3 実績	2026/3 予想	構成比 (%)	増減率 (単位：百万円)
				(%)
生 体 計 測 機 器	46,874	53,200	22.2	13.5
生 体 情 報 モ ニ タ	84,965	89,000	37.1	4.7
治 療 機 器	53,184	56,600	23.6	6.4
そ の 他	40,400	41,200	17.1	2.0
売 上 高 合 計	225,424	240,000	100.0	6.5

(参考)

医 療 機 器	113,304	120,800	50.3	6.6
消 耗 品 ・ サ ー ビ ス	112,119	119,200	49.7	6.3

平均レート

	2025/3 実績	2026/3 予想
1 米 ド ル	152.4円	140円
1 ユ ー ロ	163.5円	156円

為替感応度の概算値（年間）

	売上高	営業利益
米 ド ル	4.7億円	1.2億円
ユ ー ロ	0.6億円	0.2億円

**この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。**

**同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。**

**また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。**

**【担当部署】 経営戦略統括部**

**【連絡先】 TEL03-5996-8003**